スーパーハッチの牛床

牛床構造について

スーパーハッチの床面構造も重要な要素です。床がないものでは、砂や火山灰を入れ地盤より高くし、雨水などの浸入を防ぎ尿は浸透もしくは流れ出るようにします。また、床を板張りにしたり枕木などを敷き詰めることで、敷料管理作業の面でメリットがあります。

スーパーハッチ内のストール

移行期の子牛の施設は、フリーバーンタイプが一般的です。ただし、フリーバーンの場合、1頭当たりの面積が多くなり、こまめな除糞が必要となります。ストールを設置すれば敷料の量、除糞作業などの管理が軽減され、牛体をきれいに保てるなどのメリットがあります。

敷料について

濡れた牛体からの水分蒸発や、冷たい牛床からのエネルギーロスは見逃せません。十分な牛床、敷料管理を行い、子牛の発育を促すことが大切です。

（敷料の特徴については、22ページへ）

・床無しの場合

床のないスーパーハッチの場合は、設置した土台に砂や、火山灰などで牛床を盛らなくてはならない。

雨水や尿が流れるように、浸透性の高いものを使い、その上から乾いた敷料を入れる。牛群が移動したときは、ハッチを移動し、砂の交換を行う。

・床有りの場合

板、枕木などで床面を整備し、尿がきれる様にする。

いずれにしても敷料はふんだんに使用する。

スーパーハッチのいろいろ

仕切柵でストールを作ったスーパーハッチ。ストールには更にスノコを敷いているので、敷料の使用量が少なくても、牛体の汚れが少ない。

スーパーハッチの飼槽・給水施設

スーパーハッチの簡易的で移動が可能という特長を生かすためには、飼槽・給水施設なども同様の機能が要求されます。

- 飼槽は外に設置される場合が多く、雨水が入るので、容易に掃除が出来るものが良いでしょう。ギ酸タンクなどの廃品利用も良いでしょう。
- 給水施設も飼槽同様タンクなどの廃品の利用でも、新鮮な水を給与できるものであれば問題はありません。ボールタップなどで常時給水できればよいのですが、ホースで水を入れる場合は1日当たりの飲水量を考えて給水する必要があります(表1)。ただし、水槽が大きすぎて、何日も水が溜まって腐敗しては、いくら充分であっても牛は喜んで飲みません。

飼　槽

ギ酸タンク、ディッピング剤タンクを使用した事例安価ででき、しかも、採食や掃除がしやすい構造にします。

内径50cmの排水パイプを半割りにして使用。5m　1本 ¥64,000　(加工費は別)

水　槽

ギ酸タンクを利用して給水
定期的な清掃と
水の補給を忘れずに！

地熱利用型不凍水槽
若齢の牛はボールを押すのが大変です
冬季間は、ボールの部分が凍結し、なかなか水にありつけません。“雪をなめれば”ではかわいそうです。

表1　育成牛の水の必要量

月齢(月)	必要量(日量)
0～3	4～11ﾘｯﾄﾙ
3～6	8～15
6～12	11～19
12～	19～34

スーパーハッチのいろいろ

市販タイプ　　価格　¥250,000
全てが木造　仕切柵も木で出来ている
乾草ロールにビニールシートが被せられています。